

平成 30 年度第 1 回瀬戸市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体会議 議事録

開催日時	平成 30 年 10 月 16 日（火）午後 2 時から午後 4 時まで
参 加 者	委 員：別紙委員名簿のとおり 事務局：健康福祉部長、まちづくり協働課長、高齢者福祉課長（司会）、 高齢者福祉課長補佐、地域支援係長、担当主事（1 名）
場 所	市役所東庁舎 4 階大会議室
内 容	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康福祉部長挨拶 ・ 会議開催要件の確認 ・ 第 2 層コーディネーターの紹介（3 名） <p>2 議事</p> <p>(1) 前回の内容確認及び会議の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 7 期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（概要版）について説明。 （特に 5 ページの「重点的に取り組む施策」について説明） ・ 【資料 1】を基に事務局から説明。 〈説明内容〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回議事録のとおり、従来の本会議は、事務局やコーディネーターからの報告が主な内容であったが、「地域資源の発掘・理解」に焦点を当てていくために、議論をする場として本会議を活用したい旨委員の皆様へお伝えした。また、第 2 層の配置等の今後の展開についても再度確認をした。 →委員の理解が得られた。 <p>(2) 生活支援コーディネーターの報告等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙「平成 30 年度 第 2 層生活支援コーディネーター活動状況」を基に第 2 層生活支援コーディネーターから活動報告。 ・ 【資料 2】を基に第 1 層生活支援コーディネーターから報告。 →河島氏から「担い手不足」について質問あり。 「担い手不足とは具体的にどのような担い手が不足しているのか。シルバー人材センターでは『地域貢献』という目的からボランティア活動に近い内容を検討しているので、お役に立てればと考えています。」 →山城氏から説明。 「ここという『担い手』はサロン活動の際の主催側が高齢化しており、サロンの持続が難しいということ等の既存の活動団体の主催側のことです。貴重なご意見がいただけたので、今後に活かしたいと思います。」 <p>[河島氏]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地区割表」の案をお持ちしました。（コピーして全員へ配布） ・ 10 名 1 組の地域班の活動を検討している。

- ・ 独居老人や体の不自由な方もいるので、月に 2 回訪問をするなど地域のニーズに応えた形での事業をしていきたい。
 - ・ 公園遊具の簡単なメンテナンス（さびとりや塗装）くらいはできると思う。
- [伊澤氏]
- ・ シルバーにどこまで頼んでよいのか（サロンの問題等も頼めるのか）という迷いも周辺にあるのではないかな。
 - ・ 今のシルバーの案の様に地域資源はどこかにあるのだろうが、どこにあるのか分からず、ニーズと資源が上手く繋がっていない。
 - ・ 一つの団体だけでやると負担も大きいですが、この協議体会議を通じて地域のネットワーク作りが可能となる。（本会議を活用してほしい）

(3) 地域資源の発掘・共有について

- ・ 【資料 3】を基に事務局から説明。

〈説明内容〉

- ・ 本会議を議論の場として活用するために、先程のコーディネーターからの報告にあった課題について、各団体の長としての意見を頂戴し、各種団体の強みや特徴を活かして課題を解決していきたい。また、課題が解決されなくとも、共通認識を持ち、各団体のメンバーと課題を共有していただき、次回の会議に向けて検討していただきたい。（日常業務の中でお気づきの点があれば、事務局にご連絡いただきたい）

〈協議〉

- ・ 意見は別紙「課題に対する委員の意見」を参照。

3 その他

- ・ 事務局より。

→今回の議事の内容を各団体のメンバーに伝えていただき、お時間がある際に各団体で課題解決に向けて議論していただき、次回の会議の際に意見を持ち寄っていただけると幸いです。その意見をこの第 1 層の場だけでなく、第 2 層や地域とも良い情報が共有できればと存じます。

なお、次回の会議は 2 月を予定したいと考えております。

4 閉会